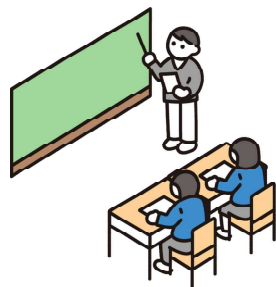


特別支援学校授業づくりプロジェクト (言語能力の育成に向けた取組)

～国語科（知的障害教育の国語）の授業づくりを通して～



C会場①

秋田県教育庁特別支援教育課
指導主事 後松 慎太郎



発表内容

- 1 目的、設定理由
- 2 プロジェクトの概要と実際
- 3 授業づくりの実際
＜省略＞
- 4 成果と今後に向けて

1 目的

教科等横断的な視点に立った資質・能力のうち、学習の基盤となる資質・能力の言語能力の育成を図るため、要となる国語科（知的障害教育の国語）を対象として、授業づくりの要点を明らかにするとともに、ロールモデルとなる人材を育成する。

授業づくりの要点を
明らかにする



ロールモデルとなる
人材を育成する



1 設定理由



第四次秋田県特別支援教総合整備計画

柱Ⅱ特別支援学校における教育の充実
重点施策「必要な資質・能力を育む授業改善」



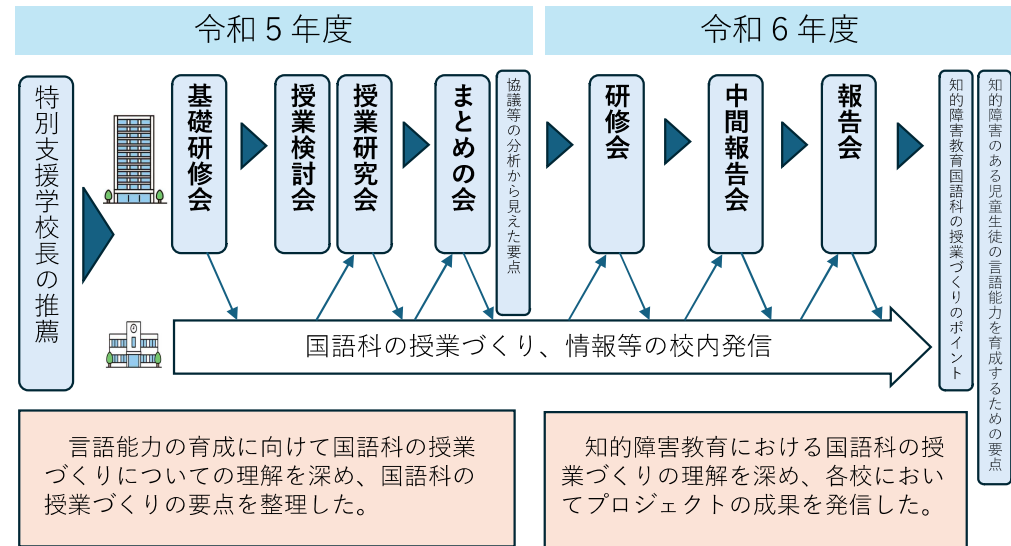
特別支援学校小学部・中学部学習指導要領

第1章第3節「教育課程の編成」
言語能力の育成

- ・学習活動を支える上で、言葉の果たす役割は大きい
- ・言語能力の育成に向けた視点による授業改善
- ・ロールモデルとなる人材の育成

国語科の授業づくり
(知的障害教育の国語)

2 プロジェクトの概要



2 プロジェクトの実際

令和5年度

基礎研修会（5月）

講話『身体と言葉をつなぐ小学校国語科の授業づくり』
秋田大学教育文化学部附属小学校 副校長 京野 真樹 氏



演習を通して、
言葉と体験、言葉と動作など、**言葉と〇〇をつなぐこと**
遊びの要素を取り入れながら**言葉をつなげたり、広げたり**すること

協議「国語科の年間指導計画から見る単元・題材づくりの課題」
「国語科の授業づくりの課題とその改善策」



「ねらいに応じた教材選定」「言葉の習得、語彙の拡充」
「言葉の面白さや楽しさを感じられるようにすること」

課題

2 プロジェクトの実際

令和5年度

授業研究会（11月）

※「授業実践校」を県内の地区別に2校指定し参加者を分けて実施
※約1ヶ月前に授業検討会を実施

◆県央・県南地区グループ（会場校:秋田大学教育文化学部附属特別支援学校）
秋田大学教育文化学部附属特別支援学校小学部 第3・6学年
「チャレンジ！クッキング」 ※調理を通して物の名前や色、形などの形容詞や簡単な動詞に触れる。
店員と客の役割を設けて他者とのやりとりも積み重ねる学習。

◆県央・県北地区グループ（会場校:比内支援学校）
比内支援学校中学部 第2学年
「伝える力をレベルアップ！～絵本の読み聞かせをしよう～」

2 プロジェクトの実際

令和5年度

授業研究会（11月）

※約1ヶ月前に授業検討会を実施
※「授業実践校」を県内の地区別に2校指定し参加者を分けて実施
比内支援学校・秋田大学教育文化学部附属特別支援学校

協議「対象児童生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、
主体的に学習に取り組み、活動に対する達成感を得ていたか」

授業研究会で挙げた主な意見

	効果的であった指導内容・方法	改善案
県央・県南	・動作化、体験できる題材 ・児童の表出に対する意味付け ・イラストに対する言葉（音声）での確認 ・児童が着目するポイントの焦点化	・児童の表現の視覚化 ・縦書きの掲示 ・言葉の意味の押さえ ・用いる言葉の選定 ・個別の目標の提示と振り返り
県央・県北	・生徒の言葉を用いたポイントの提示 ・読み聞かせを行う対象者の選定 ・多様な表出手段の選択 ・板書内容の精選 ・生徒同士の役割の明確化	・ポイントに対する生徒自身の確認 ・「伝わるポイント」の精選 ・生徒の表出に対する問い直し ・振り返り時間の確保 ・絵本の言葉の理解と絵本の選定

言葉の理解、言葉の拡充、表現の促進

2 プロジェクトの実際

令和5年度

授業研究会（11月）

※約1ヶ月前に授業検討会を実施
※「授業実践校」を県内の地区別に2校指定し参加者を分けて実施

全体協議「学習活動全体を通した言語能力の育成に向けた
言語環境の整備と言語活動の充実」

全体協議で挙がった主な意見

授業づくり等について	・「生活に生きる」、「興味・関心のもてる」展開にする ・児童生徒の実態や、めあてに合った題材を選定する ・めあてとまとめを検討し、学びの実感につなげる ・集団の学びと個別の学びのバランスを考慮する
教育活動全般について	・他学部の人材との関わりの場を設定する ・体験的な活動や他教科との連携をもたせる ・児童生徒の行動や発言を価値付けし、表現する意欲を高める

2 プロジェクトの実際

令和5年度

まとめの会（2月）

実践紹介「国語科の授業づくりの要点と実践内容」
※学習指導案と言語活動案（シナリオ）を基に紹介

授業のシナリオ（授業での実際のやりとり） 【学習活動】今日の課題を解く。（3）発表する。 一人一人のオノマトペを発表した後に、全員の回答をモニターに表示し、オノマトペを用いた行動や物の様子について考えを深める場面（資料1参照）	生徒の発言、行動
T1: Aさん、Bさんには「フーッ」というオノマトペがはいっていますが、これは何を表している様子を表していますか？	B: 息を吐けて冷ましている。彼はもうなく G: 寒い、熱いから冷ましてるんだよ。 G: 寒（状況のこと）出てた。
T1: そうですね。冷ましている様子をフーッで表しているんだね。ということは、このラーメンはどういう状態なのかな？	
T1: Cさん、Dさん、Eさん、Fさん、Gさん、Hさん、Iさん、Jさん、Kさん、Lさん、Mさん、Nさん、Oさん、Pさん、Qさん、Rさん、Sさん、Tさん、Uさん、Vさん、Wさん、Xさん、Yさん、Zさん、AAさん、ABさん、ACさん、ADさん、AEさん、AFさん、AGさん、AHさん、AIさん、AJさん、AKさん、ALさん、AMさん、ANさん、AOさん、APさん、AQさん、ARさん、ASさん、ATさん、AUさん、AVさん、AWさん、AXさん、AYさん、AZさん、BAさん、BBさん、BCさん、BDさん、BEさん、BFさん、BGさん、BHさん、BIさん、BJさん、BKさん、BLさん、BMさん、BNさん、BOさん、BPさん、BQさん、BRさん、BSさん、BTさん、BUさん、BVさん、BWさん、BXさん、BYさん、BZさん、CAさん、CBさん、CCさん、CDさん、CEさん、CFさん、CGさん、CHさん、CIさん、CJさん、CKさん、CLさん、CMさん、CNさん、COさん、CPさん、CQさん、CRさん、CSさん、CTさん、CUさん、CVさん、CWさん、CXさん、CYさん、CZさん、DAさん、DBさん、DCさん、DDさん、DEさん、DFさん、DGさん、DHさん、DIさん、DJさん、DKさん、DLさん、DMさん、DNさん、DOさん、DPさん、DQさん、DRさん、DSさん、DTさん、DUさん、DVさん、DWさん、DXさん、DYさん、DZさん、EAさん、EBさん、ECさん、EDさん、EEさん、EFさん、EGさん、EHさん、EIさん、EJさん、EKさん、ELさん、EMさん、ENさん、EOさん、EPさん、EQさん、ERさん、ESさん、ETさん、EUさん、EVさん、EWさん、EXさん、EYさん、EZさん、FAさん、FBさん、FCさん、FDさん、FEさん、FFさん、FGさん、FHさん、FIさん、FJさん、FKさん、FLさん、FMさん、FNさん、FOさん、FPさん、FQさん、FRさん、FSさん、FTさん、FUさん、FVさん、FWさん、FXさん、FYさん、FZさん、GAさん、GBさん、GCさん、GDさん、GEさん、GFさん、GGさん、GHさん、GIさん、GJさん、GKさん、GLさん、GMさん、GNさん、GOさん、GPさん、GQさん、GRさん、GSさん、GTさん、GUさん、GVさん、GWさん、GXさん、GYさん、GZさん、HAさん、HBさん、HCさん、HDさん、HEさん、HFさん、HGさん、HHさん、HIさん、HJさん、HKさん、HLさん、HMさん、HNさん、HOさん、HPさん、HQさん、HRさん、HSさん、HTさん、HUさん、HVさん、HWさん、HXさん、HYさん、HZさん、IAさん、IBさん、ICさん、IDさん、IEさん、IFさん、IGさん、IHさん、IIさん、IJさん、IKさん、ILさん、IMさん、INさん、IOさん、IPさん、IQさん、IRさん、ISさん、ITさん、IUさん、IVさん、IWさん、IXさん、IYさん、IZさん、JAさん、JBさん、JCさん、JDさん、JEさん、JFさん、JGさん、JHさん、JIさん、JJさん、JKさん、JLさん、JMさん、JNさん、JOさん、JPさん、JQさん、JRさん、JSさん、JTさん、JUさん、JVさん、JWさん、JXさん、JYさん、JZさん、KAさん、KBさん、KCさん、KDさん、KEさん、KFさん、KGさん、KHさん、KIさん、KJさん、KKさん、KLさん、KMさん、KNさん、KOさん、KPさん、KQさん、KRさん、KSさん、KTさん、KUさん、KVさん、KWさん、KXさん、KYさん、KZさん、LAさん、LBさん、LCさん、LDさん、LEさん、LFさん、LGさん、LHさん、LIさん、LJさん、LKさん、LLさん、LMさん、LNさん、LOさん、LPさん、LQさん、LRさん、LSさん、LTさん、LUさん、LVさん、LWさん、LXさん、LYさん、LZさん、MAさん、MBさん、MCさん、MDさん、MEさん、MFさん、MGさん、MHさん、MIさん、MJさん、MKさん、MLさん、MMさん、MNさん、MOさん、MPさん、MQさん、MRさん、MSさん、MTさん、MUさん、MVさん、MWさん、MXさん、MYさん、MZさん、NAさん、NBさん、NCさん、NDさん、NEさん、NFさん、NGさん、NHさん、NIさん、NJさん、NKさん、NLさん、NMさん、NOさん、NPさん、NQさん、NRさん、NSさん、NTさん、NUさん、NVさん、NWさん、NXさん、NYさん、NZさん、OAさん、OBさん、OCさん、ODさん、OEさん、OFさん、OGさん、OHさん、OIさん、OJさん、OKさん、OLさん、OMさん、ONさん、OOさん、OPさん、OQさん、ORさん、OSさん、OTさん、OUさん、OVさん、OWさん、OXさん、OYさん、OZさん、PAさん、PBさん、PCさん、PDさん、PEさん、PFさん、PGさん、PHさん、PIさん、PJさん、PKさん、PLさん、PMさん、PNさん、POさん、PPさん、PQさん、PRさん、PSさん、PTさん、PUさん、PVさん、PWさん、PXさん、PYさん、PZさん、QAさん、QBさん、QCさん、QDさん、QEさん、QFさん、QGさん、QHさん、QIさん、QJさん、QKさん、QLさん、QMさん、QNさん、QOさん、QPさん、QQさん、QRさん、QSさん、QTさん、QUさん、QVさん、QWさん、QXさん、QYさん、QZさん、RAさん、RBさん、RCさん、RDさん、REさん、RFさん、RGさん、RHさん、RIさん、RJさん、RKさん、RLさん、RMさん、RNさん、ROさん、RPさん、RQさん、RRさん、RSさん、RTさん、RUさん、RVさん、RWさん、RXさん、RYさん、RZさん、SAさん、SBさん、SCさん、SDさん、SEさん、SFさん、SGさん、SHさん、SIさん、SJさん、SKさん、SLさん、SMさん、SNさん、SOさん、SPさん、SQさん、SRさん、SSさん、STさん、SUさん、SVさん、SWさん、SXさん、SYさん、SZさん、TAさん、TBさん、TCさん、TDさん、TEさん、TFさん、TGさん、THさん、TIさん、TJさん、TKさん、TLさん、TMさん、TNさん、TOさん、TPさん、TQさん、TRさん、TSさん、TTさん、TUさん、TVさん、TWさん、TXさん、TYさん、TZさん、UAさん、UBさん、UCさん、UDさん、UEさん、UFさん、UGさん、UHさん、UIさん、UJさん、UKさん、ULさん、UMさん、UNさん、UOさん、UPさん、UQさん、URさん、USさん、UTさん、UUさん、UVさん、UWさん、UXさん、UYさん、UZさん、VAさん、VBさん、VCさん、VDさん、VEさん、VFさん、VGさん、VHさん、VIさん、VJさん、VKさん、VLさん、VMさん、VNさん、VOさん、VPさん、VQさん、VRさん、VSさん、VTさん、VUさん、VVさん、VWさん、VXさん、VYさん、VZさん、WAさん、WBさん、WCさん、WDさん、WEさん、WFさん、WGさん、WHさん、WIさん、WJさん、WKさん、WLさん、WMさん、WNさん、WOさん、WPさん、WQさん、WRさん、WSさん、WTさん、WUさん、WVさん、WWさん、WXさん、WYさん、WZさん、XAさん、XBさん、XCさん、XDさん、XEさん、XFさん、XGさん、XHさん、XIさん、XJさん、XKさん、XLさん、XMさん、XNさん、XOさん、XPさん、XQさん、XRさん、XSさん、XTさん、XUさん、XVさん、XWさん、XXさん、XYさん、XZさん、YAさん、YBさん、YCさん、YDさん、YEさん、YFさん、YGさん、YHさん、YIさん、YJさん、YKさん、YLさん、YMさん、YNさん、YOさん、YPさん、YQさん、YRさん、YSさん、YTさん、YUさん、YVさん、YWさん、YXさん、YYさん、YZさん、ZAさん、ZBさん、ZCさん、ZDさん、ZEさん、ZFさん、ZGさん、ZHさん、ZIさん、ZJさん、ZKさん、ZLさん、ZMさん、ZNさん、ZOさん、ZPさん、ZQさん、ZRさん、ZSさん、ZTさん、ZUさん、ZVさん、ZWさん、ZXさん、ZYさん、ZZさん	

T1: CさんGさんはラーメンをすすっている様子を「ズルズル」と表現していますが、これはラーメンのどんな様子を表していますか？
T1: たたえば、ラーメンの長さはどうですか？
T1: そうですね。短い食べ物だったら、「ズルズル」とは言わないかもしれませんね。
T2: AさんやEさんは「じゅるじゅる」とか「ジュルジュル」と表現していますが、「ズルズル」と違う感じなのですか？
T1: なるほど！ちょっとした表現の違いで、ものの様子がより分かりやすくなりますね。

?という表情
C: 長い。
うなずく様子
A: ズルズルより、汁が多い感じ。汁と一緒にすすっている。
B: ガリガリ君もオノマトペだ。

言語活動案（シナリオ）を作成することで、児童生徒とのやりとり（言語活動）や思考の流れなどを考える機会となる。

2 プロジェクトの実際

令和5年度

まとめの会（2月）

報告「授業研究会各地区の成果と課題」
※授業研究会の協議等の分析から見えた要点を4点報告した。



◆根拠に基づいた授業実践

→学習指導要領、関連資料等や児童生徒の認知特性等の把握による根拠に基づいた実践

◆妥当性の高い単元配列

→児童生徒の興味・関心、生活経験、「聞くこと・話すこと」「書くこと」「読むこと」のバランス、単元間のつながり等を考慮した単元設定

◆本時の授業における指導の留意点

→めあてに迫る発問、児童生徒の変容の見取り、教材の効果的な提示等の工夫

◆国語科の授業の他、学校生活全般で用いる言葉の大切さ

→児童生徒が自分の気持ちや考えを伝えたり、広げたりする活動の意図的な設定や生活に密着した内容の設定、家庭や他教員との連携などの工夫

2 プロジェクトの実際

令和6年度

研修会（5月）

講話『知的障害教育における国語科の授業づくりについて』
横手支援学校 校長 清水 潤 氏

学習指導要領の解釈や、そのポイントについての講話を通して、



- ・児童生徒の実態を**生活全体**から捉えること
- ・単元計画は教育課程全体や実際の**生活場面**を大切にすること
- ・教科用図書（☆本）等の使用に関わること

協議①「授業づくりプロジェクトの成果の校内発信に向けて」



担当教諭同士で、計画を紹介し合うことで、自身の校内発信に向けての計画を見直したり、反映させたりした。

2 プロジェクトの実際

令和 6 年度

研修会（5月）

協議②「言語能力の育成を図るための
知的障害教育国語科の授業づくりの要点」



担当教諭の協議

実態把握

単元（題材）計画

授業実践
導入・展開・まとめ

教師の関わり
教室環境

要点リスト作成

令和6年度 授業づくりプロジェクト 知的障害教育国語科の授業づくり要点リスト	令和6年度 授業づくりプロジェクト 知的障害教育国語科の授業づくり要点リスト
【1】授業の目標 ①国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ②国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ③国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ④国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑤国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑥国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑦国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑧国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑨国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑩国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。	【2】授業の目標 ①国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ②国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ③国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ④国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑤国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑥国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑦国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑧国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑨国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑩国語科の授業の目標を「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。

要点リスト【仮称】（A4版2枚：4領域25観点68項目）

2 プロジェクトの実際

令和 6 年度

中間報告会（9月）

※小学部所属担当者と中学部・高等部所属担当者に分かれて実施

授業実践紹介、情報交換①「9月までの授業づくりと今後の授業構想」
・各担当教諭の9月までの授業づくりと、今後の授業構想について紹介し合った。



担当教諭が授業づくりで大切にしたい主な項目

小学部所属担当者・・・言葉と体験、言葉と動作、言葉と事物、言葉と言葉をつなぐ働き掛け

中・高等部所属担当者…他者との関わりや意見をつなぐ、他者の考えに触れる機会の設定

共 通・・・・・・・・生活年齢、発達年齢、言語力に応じた教材の選定や児童生徒が興味・関心をもてる（興味の幅が広がる）教材の選定

2 プロジェクトの実際

令和 6 年度

中間報告会（9月）

情報交換「校内発信の取組状況」

・各担当教諭が自校において発信している内容等について共有した。
校内発信に関しては、主な内容として4点挙げた。



◆情報の伝達（提供）

- ・研修（研究）部内職員との意見交換
- ・年間指導計画検討会、全校研究会等での情報の紹介
- ・分掌部の通信での発信

◆授業実践の提示（参観機会の設定）

- ・全校研究会での授業提示
- ・提示授業における事後研究会の実施

◆協働的な授業づくり

- ・若手教員の授業の参観やアドバイス
- ・一緒に行う授業づくり
- ・学部で児童生徒の実態把握の実施

◆指導の評価・改善の機会

- ・学部会や教育課程検討会等での指導計画の評価・改善
- ・要点リストや授業づくりに係るアンケートの実施

2 プロジェクトの実際

令和 6 年度

中間報告会（9月）

協議「授業づくりの要点と改善案」

・要点リストを用いてよかった点と改善点を確認した。

○授業づくりのポイントを絞った授業構想

○授業づくりを省みる機会

○授業者間での共通言語

△項目数が多い

△観点における重複する内容

△白黒印刷では分かりづらい色使い

知的障害教育国語科の授業づくりのポイント

知的障害教育国語科の授業づくりのポイント
① 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ② 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ③ 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ④ 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑤ 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑥ 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑦ 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑧ 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑨ 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。 ⑩ 授業づくりの目標や意図、ねらいを「ことば・文法・表現」の3つの観点から設定している。

（A4版1枚：34項目）

2 プロジェクトの実際

令和6年度

報告会（12月）

協議「授業づくりプロジェクトに係る成果と自らの変容」

◆授業づくりについて

- ・安心して表現できる関係性や安心感のある授業
- ・授業に用いる言葉（発問、問い掛け等）の選定や、言葉と〇〇を結び付けるなど言葉を丁寧な用いる意識
- ・教材選定（☆本や教科書を使用する授業の増加）や、教材研究・分析の深まり
- ・年間指導計画の見直し（領域のバランス、学びの過程、学習状況、他の学習との関連）
- ・言語活動案（シナリオ）や要点リストの活用
- ・教員間において国語や言葉、言語活動、言語環境などについての会話の増加

◆言語環境について

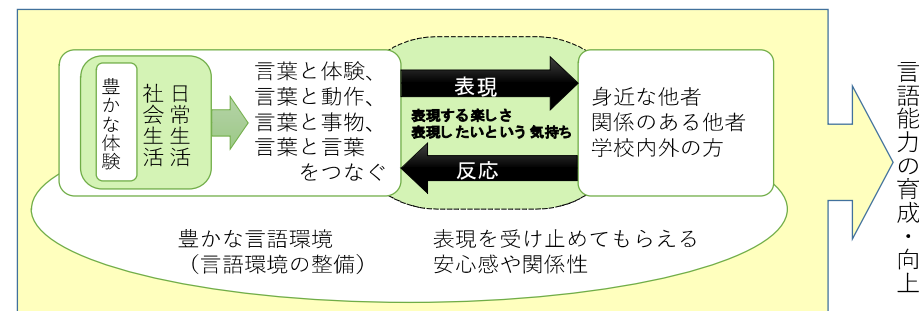
- ・児童生徒が目にする言葉の整備
- ・児童生徒が耳にする言葉の整備
- ・国語科以外の学習や日々の生活とのつながり
- ・学びの成果を視覚化（掲示等）

2 プロジェクトの実際

令和6年度

知的障害のある児童生徒の言語能力を育成するための要点

「豊かな言語環境」と「表現を受け止めてもらえる安心感や関係性」の中で、児童生徒の日常生活や社会生活、豊かな体験との関連をもたせながら、言葉と体験、言葉と動作、言葉と事物、言葉と言葉をつなげたり、言葉や表現を拡充したりする学習活動や行為を通して、気持ちや考えを他者に伝えたり、共有したりする機会を意図的に設定していく。これらの実践（取組）を積み重ねることを通して、表現する楽しさや分かってもらった喜びを味わったり、表現したいという気持ちを育てたりする。



4 成果と今後に向けて

(1) 成果

①知的障害教育の国語科の授業づくりの要点について

- ・授業のポイント等整理の過程
- ・各校における対話を通じた授業づくり等



②ロールモデルとなる人材の育成について

- ・用いる言葉や言語環境の整備への意識
- ・授業づくりへの向き合い方



4 成果と今後に向けて

(2) 今後に向けて

①教科横断的な視点からの言語能力の育成について

- ・言葉への意識の高まりと広がり

②多様な学びの場における活用について

